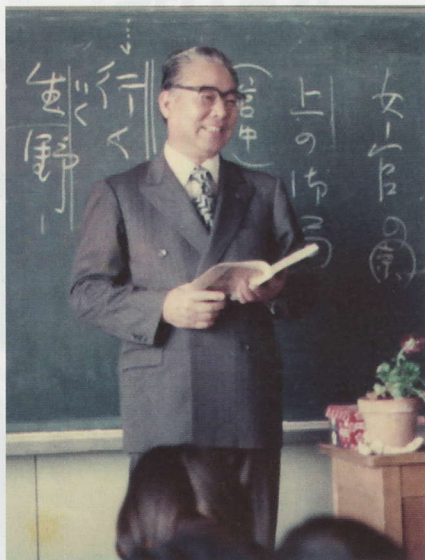


九里



人間の倫を説いてこられた九里先生

旧職員 遠藤 岩根

九里茂三先生は終戦直後から約十五年、混迷した時代において理想の灯をかかげて歩む興譲館で教鞭をとられる。昭和三十三年創立者の九里とみ先生を見送られた後、真の教育は私学にあると確信し、昭和三十六年に本校の校長に就任される。その後、山形は勿論、日本私学の代表の一人として、人間の倫を説いてこられた。

先生が、日本の社会と教育の在り方を憂い、教育の本道を求めての歩みに、勲三等瑞宝章はじめ、九里とみ先生も受賞なされた藍綬褒章など数々の受賞は当然の帰結であった。しかし九里先生にとってびつたり賞は、教育の淵源を人間そのもののうちに見いだそうとしたことで知られる「ペスタロッチー賞」（日本で毎年一人か一団体が戴く）であったのではなかったか。

諸行無常とは申せ、本当に残念な先生とのお別れ。これまでの御教えに感謝申し上げますとともに、先生の思いに若干でも近づく努力をおしまないことをお誓い申し上げます。

「礼と讓」を心の宝として

同窓会長 鈴木 京子

先生が私たちに話をされる時には、必ず「皆さんおひとり・おひとり」と言われました。「おひとり・おひとり」の言葉には、生徒を我が子のように分け隔てなく慈しみ、社会に出て困らないように、人としてどうあるべきかなど、私たちの自立を願いながらお話しくださいました。先生の懐の深さ、愛情の大きさを感ずることができました。私たち同窓生は、先生からご指導いただいた「礼と讓」の教えを一生かけがえのない心の宝物とし、同窓会活動の活発化と母校発展のために活動していくことをお誓いし、お別れの言葉といたします。

弔詞(抜粋)



お別れ会 H30.3.18

昭和三十六年四月

米沢女子高等学校 校長（）

昭和六十三年）

昭和四十年四月

自治小集団ブロック制実施

昭和四十八年四月

新教育課程

「コース選択制」実施

昭和四十九年三月

芸術棟竣工

昭和六十二年十月

山形県知事表彰(私学振興功労)

十一月

文部大臣表彰(私学振興功労)

昭和六十三年十一月

藍綬褒章受章

平成二年四月

学校法人九里学園 学園長

平成三年十月

全国私立学校審議会委員功労者表彰

平成四年十一月

米沢市功績章受章

平成十一年四月

勲三等瑞宝章受章

平成十五年

第十二回ペスタロッチー教育

賞受賞